

あおに のうちみず ほぜんかい  
**青鬼 農地水保全会 (白馬村)**

・組織の活動面積	A=	4.0	ha
・組織の構成員数	約	11	人

組織形態	共同活動 ■	中山間直接支払 ■	向上活動 □
取組開始年度	平成19年～	平成12年～	—

構成員	農家、区民、青鬼集落保存会
-----	---------------

青鬼地区(集落)は、白馬村の北西JR白馬駅より北へ向かい、車で15分ほど東側の山道を登った所にあります。茅葺き屋根(鉄板被覆)の民家と山裾に続く棚田の風景は、「日本の棚田百選」にも認定されています。

地区は山間部にあり、水量が少なく、開田が難しかったようですが、江戸時代に大規模工事が行われ、開設された山腹水路である 青鬼堰には、岩盤をノミで刻んだ跡が残っており、当時の苦労が偲ばれます。

村では遊休地対策と特産品開発の一環として、古代米といわれる”紫米”の栽培をこの地に導入し、この地で採れた紫米を使った製品を特産品として「道の駅 白馬」で販売しています。

担い手が不足して水路管理が難しくなりつつある中で、農地・水保全管理支払交付金事業に取組み、ボランティアを含めた地域の人たちと共同作業をしながら、堰と棚田の保全に取り組んでいます。

**お善鬼様の里 青鬼集落**

北アルプスと棚田(5月) 山々と里山の風景



茅葺屋根の建物



空き家となった民家を地区の交流・体験施設として改修しました。地区に伝わる伝説から”お善鬼の館”と名付けました。

青鬼堰の清掃



ボランティアの協力をいただく



お善鬼の館の前にて 参加者全員で記念撮影



これからも農地・水の保全に努めていきます。

五月まつり(イベント)



実りの秋

